

## 信州の環境にやさしい農産物認証 栽培事例（水稲）

認証取得者氏名	両久保エコファーム	認証番号	50-00025	地域名	諏訪
地域（標高）	茅野市（850m）				
土壌（土性）	黒ボク土				

項目	生産計画の内容		補足メモ																										
1 栽培 状況	(1) 品目	水稲（品種：コシヒカリ）																											
	(2) 面積	188.9 a																											
	(3) 栽培戸数又は労働力	3戸																											
	(4) 栽培期間	平成27年5月～平成27年10月																											
	(5) 収穫期間	平成27年10月1日頃～平成27年10月5日頃																											
	(6) 収穫量	H26実績 11,334 kg（うち出荷量：11,334 kg） H27計画 11,485 kg（うち出荷量：11,485 kg）																											
2 栽培 方法	(1) 土づくり	土壌診断結果に基づき稲わら、ケイカル、水マグを施肥																											
	(2) 播種	平成27年4月22日	温湯種子消毒																										
	(3) 育苗	平成27年4月22日～5月18日																											
	(4) 田植え	平成27年5月19日～5月24日																											
	(5) 施肥	化学肥料を50%以上削減するために導入している具体的な技術 有機質肥料（「BBこがね有機」および「米の精肥料7号」）を施用している。  技術を導入する際の考え方  追肥が不要で稲の生育に応じて溶出するBBこがね有機（有機20%配合肥料）と、米の精肥料7号（米ぬか主体の有機質100%肥料）を使用している。  肥料の施用状況																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">肥料の種類</th> <th rowspan="2">施用量 (kg/10a)</th> <th colspan="3">成分量(kg)</th> </tr> <tr> <th>窒素 うち化学由来</th> <th>リン酸</th> <th>加里</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① BBこがね有機</td> <td>20</td> <td>3</td> <td>2.4</td> <td>4</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>② 米の精肥料7号</td> <td>75</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1.5</td> <td>0.75</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>95</td> <td>7</td> <td>2.4</td> <td>5.5</td> <td>3.35</td> </tr> </tbody> </table>			肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)			窒素 うち化学由来	リン酸	加里	① BBこがね有機	20	3	2.4	4	2.6	② 米の精肥料7号	75	4	0	1.5	0.75	合計	95	7	2.4	5.5	3.35
肥料の種類	施用量 (kg/10a)	成分量(kg)																											
		窒素 うち化学由来	リン酸	加里																									
① BBこがね有機	20	3	2.4	4	2.6																								
② 米の精肥料7号	75	4	0	1.5	0.75																								
合計	95	7	2.4	5.5	3.35																								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>地区慣行施肥量 (kg/10a)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>低減率 (%)</td> <td>78</td> </tr> </table>			地区慣行施肥量 (kg/10a)	11	低減率 (%)	78																						
地区慣行施肥量 (kg/10a)	11																												
低減率 (%)	78																												

2 栽培方法	(6) 病害虫防除	<p>化学合成農薬を50%以上削減するために導入している具体的な技術</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温湯種子消毒</li> <li>・天然物由来(除外カウント) 剤を使用</li> </ul> <p>技術を導入する際の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育苗箱施薬を中心に、初期剤を重点とし、必要に応じて中後期防除を行っている。</li> </ul> <p>病害虫防除の内容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>使用農薬名※</th> <th>倍率・使用量</th> <th>有効成分数</th> <th>散布回数</th> <th>成分カウント</th> <th>除外カウント</th> <th>慣行回数への付加カウント</th> <th>慣行回数</th> <th>対象病害虫</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>殺虫殺菌剤</td> <td>① ルーチアド・スピノ箱粒剤</td> <td>50 g/箱</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> <td rowspan="3">8</td> <td>ドクダミイもち病</td> </tr> <tr> <td>殺菌剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>殺虫剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>除草剤</td> <td>② ビラクロンフロアブル</td> <td>500ml</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>③ ヤイバジヤンホ</td> <td>250g</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>④ バサラン粒剤</td> <td>3~4kg</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>植調剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="7" style="text-align: right;">合計</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tr> <td>農薬の使用回数</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>地区慣行農薬使用回数</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>削減率(%)</td> <td>50.0%</td> </tr> </table>		使用農薬名※	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	慣行回数	対象病害虫	殺虫殺菌剤	① ルーチアド・スピノ箱粒剤	50 g/箱	3	1	3	1		8	ドクダミイもち病	殺菌剤									殺虫剤									除草剤	② ビラクロンフロアブル	500ml	1	1	1			4			③ ヤイバジヤンホ	250g	2	1	2					④ バサラン粒剤	3~4kg	1	1	1				植調剤										合計							7	1	0	12	農薬の使用回数	6	地区慣行農薬使用回数	12	削減率(%)	50.0%
		使用農薬名※	倍率・使用量	有効成分数	散布回数	成分カウント	除外カウント	慣行回数への付加カウント	慣行回数	対象病害虫																																																																																					
	殺虫殺菌剤	① ルーチアド・スピノ箱粒剤	50 g/箱	3	1	3	1		8	ドクダミイもち病																																																																																					
	殺菌剤																																																																																														
	殺虫剤																																																																																														
	除草剤	② ビラクロンフロアブル	500ml	1	1	1			4																																																																																						
		③ ヤイバジヤンホ	250g	2	1	2																																																																																									
		④ バサラン粒剤	3~4kg	1	1	1																																																																																									
	植調剤																																																																																														
	合計							7	1	0	12																																																																																				
農薬の使用回数	6																																																																																														
地区慣行農薬使用回数	12																																																																																														
削減率(%)	50.0%																																																																																														
(7) 雑草防除	年4回(5, 6, 7, 8月) 畦畔雑草の草刈り																																																																																														
(8) 水管理	5/11~9/1まで深水管理。5月~6月頃は高標高で冷水のため、日中温めて夕方かけるように配慮している。水系が細く行き届かない圃場もあり苦勞している。																																																																																														
(9) 収量の状況	約600kg/10a、平年並み																																																																																														
(10) その他特記事項	H27から全量コシヒカリとした																																																																																														

3 販売状況	(1) 主な販売地域	県内(諏訪地域)
	(2) 販売方法	消費者との直接販売、地区住民へ注文販売
	(3) 県認証の活用方法	容器包装へシールを貼付け販売
	(4) 実需者や消費者の反応、メリット	食味の評価が高く、県認証マークも付加価値として、高い評価を得ている。

